

刊夕日四十月一十



定額 一月五拾錢 郵費五厘
廣告費 五拾二文字 第一行 五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行所 東京市平野町三丁目
電話 六三〇
印刷所 東京市平野町三丁目
印刷機 株式会社

赤十字デーを前にして (二)

：福島支部より：

貧困患者の救済は、東京本社病院の外二十七箇の支部病院、四十三箇の診療所三十七支部及滿洲委員部に於ける巡回診療班で、實施し、毎年約三十數萬人を救済してゐる。

児童及妊産婦の保護としては、先づ妊産婦保護の重要性に鑑み、樞要の地に産院、妊産婦保護所を設け、又産婆を得られざる僻遠の地方には巡回産婆を派出してゐるが、いづれも主として無料の取扱をなし、これ等に要する優秀な産婆を養成する爲めに十二箇の産婆養成所を設備してゐる。

児童保護の施設としては、児童健康相談所を設け保育の相談に應ずると共に、毎年小學校の夏季休暇を利用して海濱又は林間に保養所を作り、これに依つて虚弱児童の養護につとめてゐる千葉縣安房郡富浦に在る常設の海濱學校はその模範的なものである。

その外、小學校に於ける衛生工作として、所謂學校看護婦を派遣し、これ亦良き結果を招來しつつあることは周知の事實である。

又衛生講習會を各地に開き、随時衛生展覽會、映畫會、講話會等を催し、印刷物等を配布して、衛生知識の啓蒙普及につとめてゐるが、近時漸く世人の關心を

ノート

本年一月一日現在の全國民百歳以上の高齢者は男四六女一七〇、合計二一六名ある。

深くして來た社會事業方面に於ける社會看護婦養成は戰時に於ける救護員の養成と相俟つて本社の一特徴である。

少年赤十字事業は、健康の改善及増進、良國民たるの理解體得、人道の尊重をモットーとして、大正十一

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】みそ汁—うどん粉つみ入れ—せり 大根
【晝】煮肴—鮮魚
【晝】煮あんかけ—つみたまご 小かぶ 薄くつけかけ おろし生姜

年の創設以來異常な進歩を遂げ、團數七千二百二十二、團員數百九十九萬九千八百二十四名(昭和八年九月末日現在)に達してゐる。

日本の文化を世界人に示して世界の平和と人道博愛に資すべきであると思ふ。



田園小句

水

外れ陣に人の叫や秋晴る、
麥の芽の戦ぎて夕陽沈みけり

傷のある小雀一羽今朝の秋切株や野道鳥道果てしなく陽の赤く心忙しき二毛作寂として散る葉に沈む夜更かな

薬師寺の焼跡ボカリ秋の山刈入れの紋平嬉しき家路かな

シンブル(SIMPLE)

飯村閑舟

君よ誤解は世のすがたあらざるものがある如く傳へてとくと装ふなるそれや世にいふシンブルだ

君よ苦しともわが過ぎしイバラの道は泣いて來たこゝから生れた信念はたゞシンブルでは生きないせ。

地相家相
鑑定
十一月十五日乙酉三碧赤口開く
【白】金銭取引等に大利を得る又我望事の達するの吉日東西凶【二黒】金銭問題か我望事の件より目上と意見衝突を來す事あり戌亥と辰己凶【三碧】運氣滞滞の日はれば萬事退き守る吉【四綠】金談縁談望事共に目上と相談が吉獨歩する時は凶に變ず戌亥と辰己凶【五黄】我が望事に猛進して家内に不和を來す日なれば謙遜吉東南凶【六白】病氣怪俄のある日には家内共に健康を守るに吉未申丑寅凶【七赤】勞して功無く我身の法立を起す日なれば水火の難に注意南北凶【八白】營業上印形書付水火の難に注意南北凶【九紫】古きを捨て新金に進んで吉又望事の件が調ふ吉日也未申丑寅凶

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎巡回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院 平町南町 電一〇七

確實親切は 正木織物店ノ生命也 絹織物、正木織物店へ 開業三十五週年を祝するたため 二割引にて大々の勉強御注文に應ず 御注文ノ時ハ(呼出六七四番)へ店員伺ヒマス 平町字新町貳貳番(公園下) 白生地 賃織販賣 正木織物店

咽喉専門 山内醫院 醫學士 山内亨吉 電話六九一

雑夫募集(掃除及) 一年 年齢 十五才以上、五十五才迄にして住込みの出來得る方 一、學歴 尋卒程度、讀み書きの出來る方 一、給料は委細面談 姓名 在 社

別仕立コート 今秋冬の尖端 自然美を機に上せて 織なせる卓越せる生地 を念入りに仕立しました 店服吳井三 電 3 8 4 2 8 4

平町合格者

入營期日

送別會は廿日

平町に於ける今年度入營兵入營期日は左の如く決定したが送別會は廿日午後一時より聚樂館に開催される筈

△十一月一日入營
 (輜重兵第二大隊)三丁目岡時保(滿洲獨立守備步兵第六大隊)番匠町鈴木重造(歩兵第二聯隊)一丁目野上正行

△十一月十一日入營
 (歩兵第七十四聯隊)長橋町小野正二 大館小柳安之介

△十二月二十日入營
 (野砲兵第二十五聯隊)新川町林龍郎 同南町佐々木正二

△一月廿日入營
 (歩兵第二十九聯隊)研町高野遠次 紺屋町須藤庄一 南町澤上武雄 才穂

△六月一日入營
 (輜重兵第八聯隊)福宣町魚住貞雄

△六月十日入營
 (歩兵第七十四聯隊)研町佐々木太三 大工町愛澤正長 古銀治町小谷大三 南町岡田定次郎

△六月三十日入營
 (横須賀海兵團)月見町佐藤嘉雄 才穂小路松本茂

補充兵の豫備教育

けふから開始

平町に於ける今年度の補充兵約五十名に對する豫備教育は本日午前八時より第一小學校講堂に於て行れたが

講師の受持左の如くである(藤田中尉)勅諭讀法、軍人精神、時局と國防(藤井少尉)陸軍編成、兵科識別、性能階級(小泉特務曹長)兵役の義務、軍隊の内部状況、入得心得(大間特務曹長)官姓名及び稱へ方、言語動作

海軍機建造

古河郷軍が醸金

四百七圓八十九錢を送る

好間村古河炭礦の在郷軍人分會では豫てより報國海軍機建造資金を一般より募集中であつたが醸金四百七圓

償却者には

六割の融通

低資利用者

十八日迄に申込まれたし

平町の中小商工業者で昭和七、八兩年度に亘つて低利資金の融通を受けた者は四

カキ移出

本年不振

千天續きの被害

郡農會の斡旋で東京市場に移出される郡産柿は出荷薄となり取引も終期に入つたが本年度現在の移出高は五車二千四百餘箱で代金五千餘圓、昨年度の三十車一萬二千箱、代金一萬五千餘圓

自動車道路

青年等が改修

勞力を奉仕して

箕輪村青年團では去月上旬より同村字臺より發電所に至る村道を自動車道路に改造す可く團員出動勞力奉仕し改修中であつたが此程竣功した

職業指導

研究委託

本縣では小學校の職業指導の研究の指定委託を行つて居るが今回湯本小學校にも指定委託をなし年々研究費の補助を行ふ事になつた

演習擔當

夫々役割決定

既報来る十七、十八の兩日に亘り鹿島方面及び草野、平方面に於て行れる警中對平商の發火演習に就いては目下兩校共夫々準備中であ

るが本日兩校の各擔當は左の如く決定された

△南軍(警中)
 (統監部)小檜山校長(補助)大井川少佐外四名
 (指導係)庄司 遠藤 柴崎 大淵 石田各教諭
 (喇叭班)河野邊喇叭手
 (給養係)廣田教諭外五名
 (救護係)梅森教諭外二名
 及看護婦二名(觀戰部隊係)名尾教諭外五名(損害豫防並賠償掛)廣田教諭外二名

△北軍(平商)
 (統監部)矢野校長(補助)服部教諭外二名(指導係)駒場 麻原 矢野 藤井(喇叭班)八田喇叭手(救護係)室原教諭外三名(審判官)大澤 武川 中村 室原 泉田 新田 下山田各教諭

生徒火災調査

警女では明日の防火宣傳デーに際し生徒家庭の火災に就いて調査を行ふと

平町人事

△鐵道官舎三ノ二江上浩氏 三男巖
 △南町一五當時石城郡湯本町字辰ノ口五五伴井長太郎氏次男智
 △六間町六田中金三郎氏三男康郎
 △四丁目五八鹽田要吉六〇



港の話題

「ハテ、この夜更けに」本縣鏡石駐在所の硝石戸をトン／＼叩くものがあるのだ所員がそつと出て見ると一匹の犬が頻りに前脚で戸を叩いてゐる呼ぶとなれ／＼しく飛びつて來たがし

かど口にくわへてゐるのは現金在中のガマ口であつた、犬は殊勝にも拾得物を届けに來たのである。餘りの可愛さに「お、ベス、追つて通知するぞ」と頭をなでてやつたが犬はワンとも言はず、いそ／＼歸つて行つた、鑑札で同村飛澤長治氏の愛犬と知れたが犬は日頃村のほめものであつた。輝やかしい笑顔、働けども働けども食つて

は行けないこの頃、これは又につこり笑へばお金もあらへるといふアチラの話し世界一の笑顔の持主、ベス、テイ。スパーリング嬢はその可愛らしい唇を綻ばし美しく歯並をチラとのぞかせることによつて、豪奢な暮らしをしてゐるが若しや悲しい氣持になつては失業の外ないといふので此の度自分の笑顔に一萬圓の保険を付ける事になつた。なら

たいもなんておつしやつたつて駄目々々、カボチャのやうな醜女にゲラ／＼笑はれたんぢやア興ざめて風邪を引きます。

い、ビツ頭の餘榮、がだ、世の中はよくしたものの、い、ビツ頭だつて捨てたもんでない、東京本郷區坂下町鈴木末年(七)くん、頭が妙チクリンにい、ビツなところからキング・ゴング

のニツクネームを頂戴してゐたが、アダ名の名譽を恥かしてゴングのやうな力量もなければ智慧もないのを悲觀、どうとう猫自殺を遂げてしまつたが、頭の餘りにもい、ビツなのに興味を持つた帝大島園内科では學術研究のため近く解剖に付することになつた、だから醜女の笑顔だつて萬更らでもなからう。

事になつたので希望者は來る十八日迄に町役場へ申込まれ度いと

正體藥局
 電話三〇〇番

警女生の丹精

菊の懸崖見事

警女園藝部では志村係教諭の指導で三年以上の生徒が菊の懸崖を栽培したが丹精効あつて此程いづれも見事に開花したので目下左記優秀なものを廊下に陳列した、中にも四年の菊地姫子さんと木村京子さんが共同で作つた『輝』は殊の外上出来の爲め校長室に飾られた

(祝司)青木ミヨ、高岡サク(同)橋本操、石川くに(同)坂本淳子、鈴木光(大鳳)落井雅子、伊藤好子(黄麗)田代トシ、本庄はま(黄金)山安井泰、渡邊サダ(同)中山和子、緒形敬子(輝)豊田トシ、鈴木英子(舞姿)太タカ澤デウ

病苦と共に

迫る生活難

炭焼さの自殺

川前村大字川前字外門一七八炭焼業志田恒四郎(五)は去る十二日午前二時頃自宅の梁に帯を吊し縊死を遂げたが原因は病苦と生活難

クリスマス

贈物決定

平の少女達から、米國のお仲間へ、既報國際愛高調の一方法として平第二小學校少女赤十字團より米國の少女赤十字團に贈るクリスマスプレゼントは目下準備中で本日書方は左記兒童の成績品と決定したが圖書及び手藝品は明日決定すると

二年田卷隆子 同酒井正

豊作の神

社殿を改造

相馬郡鹿島町に鎮座する南右田神社は文久年間北郷の代官として附近百町歩の田水を開いた荒事八翁の徳澤

を忘れぬ爲め、つた神社であるが本年の如き千天績きにも田水満々として稲作願る豊であつた爲め、氏子等相寄り豊年祭りを機として社殿を修葺し石鳥居を建設する事となつたが祭神荒翁は平町會議員佐々木龍若氏の祖父に當る處から同町議はその費用の一部に當てんと親戚及び知己の間に寄附募集中である

平湯本間

自動車の

駐車場決定

平湯本間乗合自動車は現在五人の營業者が十七臺の車を出して營業中であるが既報の如く平湯前の駐車立のきを迫られたので横山平署長が昨夜營業者と種々對策の協議を行つた結果田町關

検査證を取換へ

栗をナラと偽る

平十五丁目阿部徳平方荒井武(三)は去月十一日頃古銀治町木炭店齊藤マツ方より栗木炭三十俵を譲り受け内十五俵を楡木炭の検査證に取換へ同町道匠小路長澤マサヨ外數名に賣却した事發覺目下平署に於いて取調中であるが詐欺罪及び木炭検査取締法違反として送検される模様である

平消防組

検閲執行

明日の順序

既報明十五日の防火デー當日平消防組の検閲は午前八時から大町地内廣場に於いて左記順序に依り執行され

明日のラジオ

十五
仙遊放送台

今晚も明日も北西の風天気良し

今晩の部
後六、〇〇(子供の時間)童謡と唱歌、齊唱、いそふ仙臺市通丁小學校兒童ピアノ伴奏、大泉さきみ、二、獨唱「棟のベン」(草)三、齊唱「峠みち」仙臺市南村木町小學校兒童
明日の部
内正一氏所有空地を借り受け同處を發着所とする事に決定した

射撃場の

規定を協議

石城在郷軍聯合分會では来る十八日午前十時より丸友ホール樓上に於いて評議會を開き新設射撃場の規定其他に就いて協議すると

磐崎農事品評

神谷

農事試験分場の矢ヶ崎技手は來月五日磐崎村農會で開かれる農事品評會の審査長として出席する

裁判所より

△平檢事局では過般來川前村大字川前字中ノ萱八六料理店業合田音吉(五)を刑務所に收容し清田檢事係りの下に取調べ中の處本日傷害罪として起訴近日公判を開廷する事になつた事件の内容は、被告は大正七、八年頃同村永山龜太郎氏より宅地三十一坪七合を月地代五圓にて借受け住家一棟を建て料理店を營んでゐたが其後右土地は同村永山忠二氏の所有となり昨年三月迄に地代未納額百二十五圓に達

前七、〇〇基礎英語講義(二十八)岡倉由三郎前九、〇〇料理献立「小鯛の菊味焼」熊野新一「前」〇、三五家庭メモ「兒童の養育に就て」醫學博士柳川重雄
後二、〇〇五滿洲より「最も感銘深き文學書のうちより」菊地寛
後五、三五受驗講座「代數」松村定次郎
少年講談 三浦樂堂

後七、三〇講演「將來のインフレ政策」小島昌太郎
後八、〇〇映畫劇「警察官」新與キネマ現代劇部小杉勇其他
後八、四〇義太夫さわり「揚屋の段」竹本圓初(後八、五〇)「御座先代萩(御座の段)」竹本圓初
後九、〇〇「お夏清十郎壽連理の松」(湊町の段)竹本佳照
後九、一五「艶姿女舞衣」豊竹猿司

木村外科醫院

花柳科 専門科
院醫科外村木

際橋目丁五町平 〇九三話電

美味で！
評判の……
イワキ
サロン
電 352

銘劍秘刃録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫
第八十九回 血に飢ゆる村正

榮之丞を唯一刀
お客に花魁の二人を切り
下げました次郎左衛門は其
足で八ッ橋の部屋へ這入つ
てソツト様子を伺ふとまだ
船橋と橋の戸は差し向ひで
客と飲んで居る様子
次『橋の戸』
橋『アレー化物が』

といふのを夫へ蹴返して
小鬚先から喉咽へ掛つて切
り下げる、船橋が逃げやう
とするのを鬚を掴んで引戻
し
次『ヤイ八ッ橋は何處に寝
て居る、榮之丞は來て居る
だらう』
船『私きやア知りんせんか
ら外の者に聞て呉んなま
し』

次『イヤ番頭新造の貴様達
が知らない事はない、二人
の在所を話したら貴様の命
は助けてやる』
船『夫でも知らないのであ
りんす』
次『何うでも教えないかエ
ー教えないければ此の通り
だ』

と船橋を弄り殺しに致し
ました、夫より多くの人を
切る所もございませうが一
々うるさうございませうが
大略として申上ます、

廣い萬字屋の二階何處に八
ッ橋榮之丞が寝て居るか分
りません、今下座敷へ來る
と階子の傍へシヨボリと立
て居る花魁は薄衣といつて
是まで次郎左衛門陰へ廻り
種々意見等を致しました年
は若い中々届いた花魁で

は迷ひの中の迷ひ故、耳へ
も入れず置いたのが今とな
つて恥かしい』
衣『主は大勢を切りなんす
氣なら八ッ橋さんと朋輩の
私キゆえどうぞ殺して呉ん
なまし』
次『私やア氣狂いちやアな
い、今まで恨のある者や手
向ひをする者は據ころなく
切りもしたが、何でお前を
殺さうか何か禮をしたといけ
れど是と云ふものもない』
と腰をさぐつた次郎左衛
門手に當つた一つ、提の煙
草入、緒は珊瑚珠の八分
玉金物は金無垢の一輪牡丹
之を取出し



ございませう、是を見るより
次『薄衣さんか』
衣『佐野の大盡でありんす
か、嘸御腹が立ちましたら
う』
次『花魁、お前の云つて呉
れた事もあつたが、其時

次『花魁志は松の葉とやら
是まで親切にして呉れたお
前、些かの物だが上がたゆ
え、どうぞ遺身と思つて取
つて下さい、』を殺せば殺

さる、どうせ命は捨て、懸
つた次郎左衛門、死んだと
云ふ事を聞いたなら一遍の念
佛なりともとなへて下さ
い』
衣『覺悟の上でしなした
事、今更ら私が何と云つて
も俗に云ふ後の祭り、此の
上は思ひ通りにした上に主
が死んだといふ事を聞いた
なら必ず回向は致します』
次『お前のやうな親切の花
魁のあるものを、アんな不
實な八ッ橋に捨てた金は惜
しくないが今まで彼奴等に
笑はれたのが如何にも心外
シテ八ッ橋は何處に居るか
知つてゐるなら教へて貰ひ
度い』

八ッの橋をとびくりに參り
まする所でございます、部
屋の外に足音が致します、部
と八ッ橋の聲
八『橋の戸かへ船橋かへ、
先刻から何だか二階が騒々
しいぢやアないか化物は歸
つたと云ふに何を騒いで居
なんす』
と聲を聞きより次郎左衛
門左に葭戸を開けながら
次『八ッ橋化物又來たぞ』
八『アレー』

次『ウムそんなら新座敷に
寝て居るのか』
衣『朋輩の隠れ家を主に教
へるも、あんまり八ッ橋さ
んが平常から貴方の事をい
ろ／＼に云つて居るのが氣
の毒ゆえ、夫で教へて上ま
す』
と薄衣は其儘自分の部屋
へ參りました、是は別に八
ッ橋に遺恨がある譯ではな
いが覺悟の上の次郎左衛門
八ッ橋と榮之丞の在所の知
れる迄には多くの人の生命
に拘はるものと思ひ、それ
より二人を討たして後を無
事に治めやうといふ薄衣の
了簡と見えました教へて貰
つた次郎左衛門勝手覺えた
八ッ橋樓新座敷へ行くには

を逃がすやうな譯でござい
ます、流石都築の免許取り
逃げやうとする八ッ橋の牌
腹をドツト蹴つたるゆえ、
其のまゝウンと仰向けに反
る、榮之丞は傍へにある煙
草盆を取つて投げつけると
体をかかわした次郎左衛門
『恨みの刃を受取れ』と寶
生榮之丞の肩先から深く切
り込む業物は妖刀村正

看護婦急派
の求めに應
じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

男女安全豫防藥
新發賣 志のぶ錠
しのだ錠は花柳病の豫防藥たるのみならず〇〇〇〇
の外コシケ、子宮、内膜炎、腫加答兒並に婦人〇部
の癢痒等の治療の目的に用ひられる事で即ち〇〇の
豫防と治療の二重奏をなします
專賣所 **阿康藥舖**
平古銀治町(電話四四番)
妊娠を望む方は使用すべからず

吉田眼科病院
平紺屋町電話六八番
院長 吉田 安雄
醫學士 吉田 久雄
眼科専門

感じの良いい!
客に親切な……

阿部藥舖
平・田町(松月堂向)

藥種賣藥、工業藥品
衛生材料、各種染料
化粧品、其他

輪界の王座
サビナイ自轉車
富士自轉車
國際自轉車
— 全廻轉部・鋼鐵製・防水保油裝置 —
指定販賣所
フタバ商會
平・新川町・橋際